

第13回 中国支部例会

- 1 日程 2023年3月25日(土) 14:00~16:30
- 2 参加者 小学校5名 中学校2名 大学生1名 大学院生2名 大学2名
- 3 内容

【第1部 研究発表】

○「校内教員との連携による一步踏み込んだ鑑賞活動」

広島市立古田小学校 吉田紗代

校内の教員のピアノ演奏を生で聴いたり話を聞いたりすることで、弦楽器の音色や奏法に親しみ、楽器の音色や音楽を形づくっている要素に着目して聴くことができるようになった実践について発表があった。

○「演奏のみりよく ～ICTを効果的に使って～」

広島市立宇品小学校 末本博美

ICTの協働学習支援ツールを効果的に活用し、教科担任制を構築し、音楽科における「学びに向かう姿勢」と「教科で付けるべき力」の育成を目指した鑑賞の授業について、身に付けた力の指標が示され、成果と課題が報告された。

○「生徒の主体性を促す音楽科の授業づくり

～生徒自身の選択に基づく授業設計の実践から～

江田島市立江田島中学校 向田瑞貴

生徒の興味・関心に合わせた授業のデザインにおいて、生徒自身が選択した教材に基づいて授業を設計することで、生徒の主体性を引き出し、深い学びを促す鑑賞と歌唱の実践の発表があった。

【第2部 模擬授業提案報告】

「箏を使った音楽づくりの授業～箏の奏法を生かして、俳句の情景を表す音楽をつくろう～」

東広島市立西条小学校 富樫真紀

箏の技法を口唱歌で覚え、俳句の情景を箏で表現し、発表する模擬授業を行った。参加者は実際に音色を試しながら、俳句の表わす情景を音楽で作り、発表した演奏をその場で録画再生して、作品のよさを共有した。

小学校でタブレットを使って曲の魅力を紹介しあう時の留意点や、中学校で音楽の要素に基づいて聴きとることが困難な生徒に対する相談の手立て等について意見交流がなされた。また、模擬授業では小学生の実演動画や掲示物、模擬授業者の手元投影により、グループでいろいろな奏法をとりいれながら、情景にあう音楽づくりができることが認識された。



研究発表の様子



模擬授業の様子